

高知県における 南海トラフ地震対策



つなみまん



じしんまん

高知県防災キャラクター©やなせたかし

令和8年2月8日 地震本部地域講演会 in 高知

高知県危機管理部 江渕 誠



過去の南海トラフ地震 (東海・東南海・南海・日向灘地震)

過去の地震 ※1600年以後の東海・東南海・南海・日向灘地震



●月日は陽暦



昭和南海地震

昭和南海地震による高知県内の被害

発生日時：昭和21年（1946年）12月21日 午前4時19分

震源：和歌山県潮岬の沖合い約50km（マグニチュード8.0）

被害：死者・行方不明者 679人、負傷者 1,836人、家屋被害 5,400戸、津波高 4～6m



家屋の倒壊
四万十市中村大橋通二丁目付近



揺れによる堤防の決壊
高知市葛島付近



地盤沈下による浸水
高知市城見町付近



「高知県南海トラフ地震対策行動計画」の対策体系

命を守る

揺れ対策	津波対策	火災対策	
<ul style="list-style-type: none"> ■住宅の耐震化の促進 ■県・市町村有建築物、学校、医療施設・社会福祉施設の耐震化の促進 ■室内の安全対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅等における家具転倒防止対策 ■ブロック塀対策等の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■津波からの避難対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・津波災害警戒区域の避難確保計画策定、訓練の実施 ・個別避難計画の作成、訓練の実施 ■津波避難路・避難場所の整備 ■津波・浸水被害対策（<u>浦戸湾の三重防護事業</u>） <ul style="list-style-type: none"> ・港湾、海岸、河川等の対策の推進 ■高台移転に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等の高台移転 	<ul style="list-style-type: none"> ■市街地における火災対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地震火災対策 ・密集市街地の地震火災対策（<u>感震ブレイカー</u>の設置） ■燃料タンク等の安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・タナスカ、中の島地区の石油・ガス施設対策 ・農業用燃料タンク対策 	
<ul style="list-style-type: none"> ■県民への情報提供、啓発の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震に対する備えを啓発 	■防災教育、防災訓練の実施	■臨時情報への対応強化	■防災DXの推進
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">高知県強化計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">耐震改修促進計画</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">地域津波避難計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">災害時における要配慮者の避難支援ガイドライン</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">地震火災対策指針</div>	

命をつなぐ

応急活動対策	避難所・被災者対策	医療救護対策	
<ul style="list-style-type: none"> ■陸上における緊急輸送の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>道路啓開計画の実効性の確保</u> ・橋梁や道路法面の防災対策 ■海上における緊急輸送の確保 ■応急対策活動体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・長期浸水における救助救出体制の整備 ■ライフライン対策 <ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の耐震化 ・応急給水活動に係る資機材整備 ■燃料確保対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の燃料供給体制の維持 ■<u>受援態勢の強化</u> <ul style="list-style-type: none"> ・県や市町村における受援態勢の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■避難体制づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の収容能力の拡大 ・避難所運営マニュアルの作成、訓練実施 ・避難所への資機材整備 ■<u>備蓄の推進</u> ■<u>物資配送体制の構築</u> ■保健・医療・福祉の連携体制の強化 ■要配慮者の避難対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所の指定、要配慮者の避難対策の見直し ■災害ボランティア活動の体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■医療救護体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・医療救護活動を担う人材の育成 ・自らの力で医療継続できる体制の確保 ・医薬品等の供給・確保体制の整備 ・歯科医療提供体制の整備 ・透析医療提供体制等の整備 	
	■防災人材の育成	■地域の防災体制の強化	■防災DXの推進（再掲）
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">道路啓開計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">応急対策活動要領</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">応急救助機関受援計画</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">物資 配送計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">燃料 確保計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">応急期機能 配置計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">避難所運営マニュアル 作成の手引き</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">災害時医療 救護計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">要医療者支援マニュアル</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">保健医療計画</div>	

生活を立ち上げる

復旧対策	くらしの再建対策	復興対策	
<ul style="list-style-type: none"> ■公共土木施設の早期復旧 ■建設業・建築業のBCP策定 ■農・林・水産業のBCPの実効性の確保 ■商工業・観光業のBCP策定 ■<u>その他各事業者のBCP策定支援</u> ■住宅の復旧 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅供給体制の整備 ■教育環境の復旧 	<ul style="list-style-type: none"> ■災害廃棄物の処理 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村災害廃棄物処理計画の見直し支援 ・損壊家屋等の迅速な解体・撤去対策 ■被災者の生活再建支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ケースマネジメントの実施体制の構築 ・災害弔慰金等の支給に係る審査体制の整備 ■住家被害認定の体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■<u>事前復興まちづくり計画の推進</u> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸地域の事前復興計画の策定を推進 ・中山間地域の事前復興計画の策定を推進 ・市町村が実施する地籍調査事業の支援 ■住宅再建への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の早期復旧体制の整備 	
■復旧・復興体制の整備			
<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">震災復興都市計画 指針（手引書）</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">応急仮設住宅 供給計画</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">災害公営住宅 建設計画</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">災害廃棄物処理計画Ver.2</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">災害ケースマネジメントの手引き</div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">事前復興まちづくり計画 策定指針</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">復興方針（草案）</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">復興手順書</div>	

第6期の
対策数は
計258



へルパちゃん

・全庁、全部局が役割分担をして PDCAを回して、計画的に実施
・各対策の数値目標を掲げて



たいさくくん
©やなせたかし

！ 高知県の被害想定と行動計画の経過

高知県では、平成20年に「高知県南海トラフ地震による災害に強い地域社会づくり条例」を制定し、この条例の実効性を高めるために平成21年に「南海地震対策行動計画」を策定し、被害想定や他県での地震災害の教訓を基にして、これまで6期17年にわたって、全庁をあげて、市町村などとともに、様々な対策をハード・ソフトの両面から推進してきた。

高知県内の被害想定（死者数）

国の被害想定
(H24.8公表)
死者数：49,000人

県の被害想定
(H25.5公表)
死者数：42,000人
住宅耐震化率：74%
津波避難空間整備率：26%
津波早期避難意識率：20%

減災効果
第5期末(R7.3)時点
死者数：約7,800人
92%減
住宅耐震化率：91%
津波避難空間整備率：100%
津波早期避難意識率：70%

国の被害想定
(R7.3.31公表)
死者数：46,000人

「高知県南海トラフ地震対策行動計画」の経過



木造住宅 最大165万円

耐震改修

高知県木造住宅耐震改修補助事業

津波避難タワー126基完成
避難場所の整備 2,723箇所

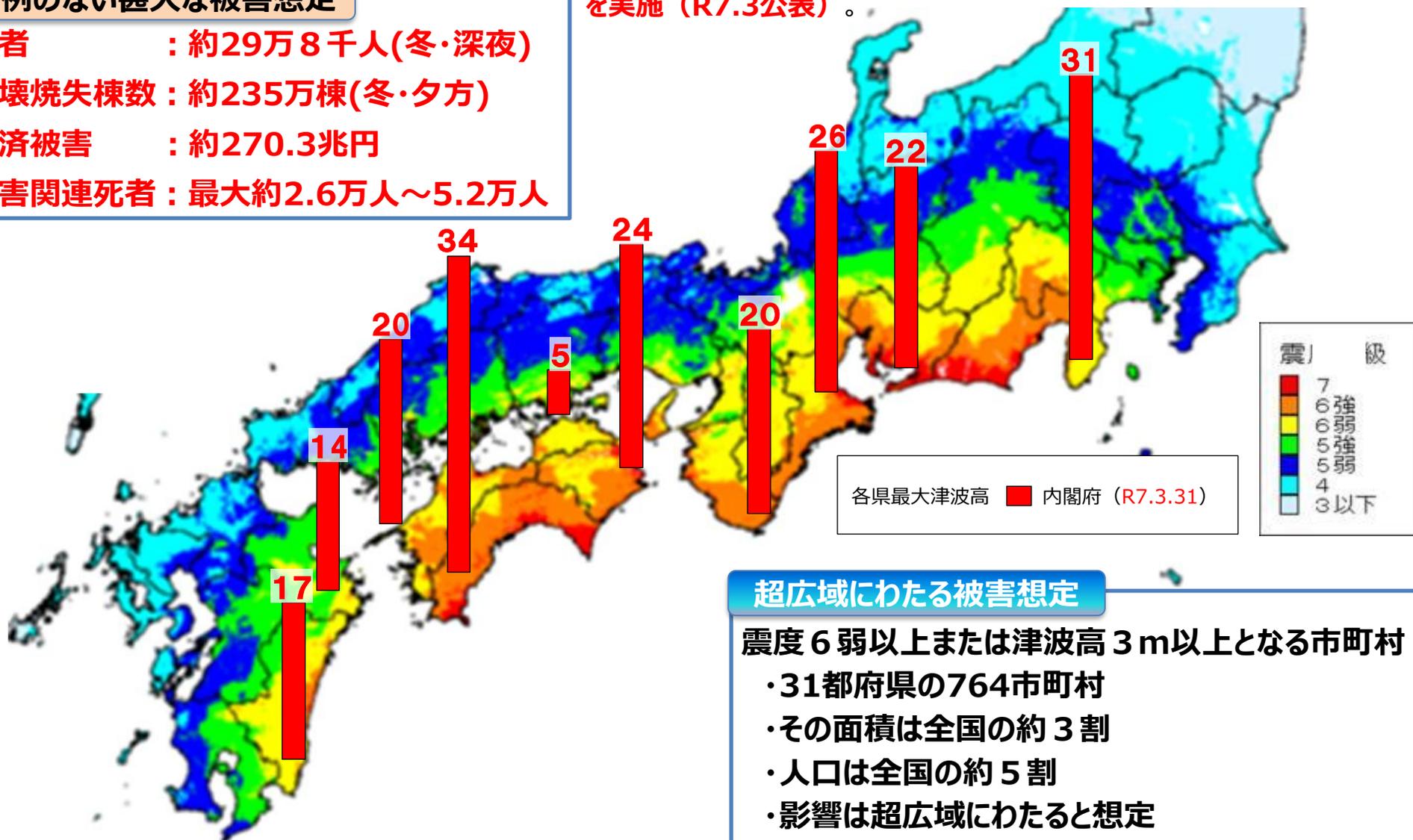
津波から命を守るために
揺れがおさまったら、**すぐ避難!** 意識向上

! R7.3.31内閣府公表 新たな南海トラフ地震の被害想定

国は、南海トラフ地震防災対策推進基本計画（H26.3）の策定から10年が経過することから、**最新の知見を踏まえた広域的な被害想定の見直しを実施（R7.3公表）**。

前例のない甚大な被害想定

- 死者：約29万8千人(冬・深夜)
- 全壊焼失棟数：約235万棟(冬・夕方)
- 経済被害：約270.3兆円
- 災害関連死者：最大約2.6万人～5.2万人



超広域にわたる被害想定

震度6弱以上または津波高3m以上となる市町村

- ・31都府県の764市町村
- ・その面積は全国の約3割
- ・人口は全国の約5割
- ・影響は超広域にわたると想定

! 国新想定と県減災効果における想定死者数の差 (四国地方が大きな被害を受ける場合※津波ケース④)

		前回想定	今回想定	
国想定 (全国)		H24.8公表 32,000人 ~ 226,000人 (基本、夏昼、意識70%) ~ (陸側、冬深夜、意識20%)	R7.3公表 30,000人 ~ 238,000人 (基本、夏昼、意識70%) ~ (陸側、冬深夜、意識20%) 前回想定から12,000人増加	【参考】 全員がすぐに避難した場合 9,100人 (基本、夏昼、意識100%)
	うち 高知	7,600人 ~ 49,000人 (同基本、夏昼、意識70%) ~ (陸側、冬深夜、意識20%)	6,500人 ~ 46,000人 (基本、夏昼、意識70%) ~ (陸側、冬深夜、意識20%) 23,000人 (陸側、冬深夜、意識70%)	3,500人 (基本、夏昼、意識100%)
		耐震化率79% 津波避難空間なし 浸水面積16,410ha 避難速度一律2.65km/h	耐震化率90% 津波避難空間あり(箇所数は不明) 浸水面積18,000ha 避難速度減少(要支援者1.89km/h等)	
高知県 独自想定		H25.5公表 42,000人 (陸側、冬深夜、意識20%)	【参考】第5期行動計画 減災効果 (R7.3) 7,800人 (陸側、冬深夜、意識70%)	減災目標 (R10.3) 3,500人 (陸側、冬深夜、意識100%)
		耐震化率74% 津波避難空間あり(163箇所) 浸水面積18,467 ha 避難速度一律2.65km/h	耐震化率91% 津波避難空間あり(津波避難タワー126基含む2,717箇所) 浸水面積18,467 ha 避難速度一律2.65km/h	

※津波浸水面積は、高知県における各市町村で最大となるケースの面積(浸水深30cm以上)の合計 ※県想定の見直し(R8.3公表予定)は検討中

・国は、幅を持った想定死者数を公表。県の第5期計画における減災効果(7,800人)は、国が示した幅(6,500~46,000人)の中に収まっている。
 ・減災効果(7,800人)と同条件(陸側、冬深夜、意識70%)の場合の国の死者数は23,000人であり、国と県で差が生じる。

★国新想定と県減災効果で差が生じる理由

- (1) 前回想定時の相違点(震度の計算手法の相違)が影響 ⇒ 前回想定の時点(H25)で、県は国より想定死者数が7,000人少なかった
- (2) 要支援者(+同行者2人)の避難速度が28%~55%減少 ⇒ 県のL2浸水域内の要支援者は、10,840人なので同行者含め約3万人に影響
 傾斜部においては、健常者も避難速度が48%減少 ※避難速度(km/h)が28%~55%減少すると、避難可能範囲(m²)は49%~80%減少



高知県版の被害想定の見直し

1 目的

南海トラフ地震防災対策推進基本計画（H26.3）の策定から10年が経過することから、**国が、最新の知見を踏まえて広域的な被害想定の見直しを実施（R7.3公表）。**
この結果を踏まえて、本県の地域の実情に応じた、詳細な被害想定の見直しを行う。

2 高知県地震被害想定検討委員会の設置（R7.2月）

国の動向や最新の科学的知見に精通した有識者を委員とする検討委員会を設置し、専門的な見地から助言をいただき、人的被害や建物被害等を算出し、被災シナリオを作成する。

高知県地震被害想定検討委員会 委員

(五十音順・敬称略)

所属	役職	氏名
東北大学災害科学国際研究所	教授	今村 文彦
高知県立大学看護学部 看護学科	教授	木下 真里
高知大学防災推進センター	副センター長	原 忠
あいち・なごや強靱化共創センター 名古屋大学	センター長 名誉教授	福和 伸夫
京都大学防災研究所巨大災害研究センター	教授	矢守 克也

委員長



高知県地震被害想定検討委員会

第1回 検討委員会 令和7年2月3日

- ・ 現行の被害想定について
- ・ 地震動等予測、津波浸水予測の手法等について
- ・ 被害想定の前提条件について

第2回 検討委員会 令和7年5月15日

- ・ 地震動等予測、津波浸水予測の検討状況について
- ・ 被害想定的手法等について
- ・ 被災シナリオの作成の考え方について

第3回 検討委員会 令和7年8月20日

- ・ L2地震動予測、津波浸水予測の検討状況について
- ・ L2地震動の液状化及び土砂災害の結果について
- ・ 被害想定予測手法について
- ・ 被災シナリオ作成について

第4回 検討委員会 令和7年10月29日

- ・ L2地震動予測、津波浸水予測の検討結果について
- ・ L2地震動の液状化及び土砂災害の結果について
- ・ L1地震の震源断層モデルの変更及びL2地震の時間差発生ケース

最大クラス(L2)の震度分布・津波浸水予測の公表

第5回 検討委員会 令和7年12月26日

- ・ L1地震動、津波浸水、液状化及び土砂災害の結果について
- ・ 半割れ地震の想定について
- ・ 被害想定（人的、建物）について
- ・ 被災シナリオ作成について

第6回 検討委員会 令和8年1月28日

- ・ 被害想定について
- ・ 被災シナリオについて
- ・ 減災効果について

第7回 検討委員会 令和8年3月末頃

- ・ 報告書（案）について
- ・ 被害想定の結果について
- ・ 新たな被害想定を基にした啓発について

被害想定公表





R7.10.29
公表

最大クラスの新たな震度分布と津波浸水予測

- 国がR7.3に公表した新たな被害想定をベースに、県内の地質調査結果や、最新の地形データなどを加味し、より精緻に算出

推計の条件

【震度分布予測】

- 内閣府の4ケースの強震断層モデルにより推計
- **約1万本の地質調査結果を追加**し、合計19,500本のデータから**地盤をモデル化**
- **県内の地盤の地質特性を踏まえて**震度をより適切に算出するために、**解析手法を見直し**

【津波浸水予測】

- 内閣府の津波断層モデルの内、高知県沿岸で最大の津波高が発生する6ケースで推計
- 最新の地形データなどを反映し、より精緻な推計を実施
 - ・ **最新の地形測量データを反映**（測地成果2024（標高改定）、航空測量結果（地形図）を反映）
 - ・ **詳細な地形図に変更**（H24 10mメッシュ → R7 5mメッシュ※） ※網の目状に区分
 - ・ **直近10年の朔望平均満潮位を反映**
 - ・ **浦戸湾の三重防護事業の堤防や、高規格道路の盛土部の整備状況を反映**



最大クラスの震度分布 (H24→R7)

【H24】

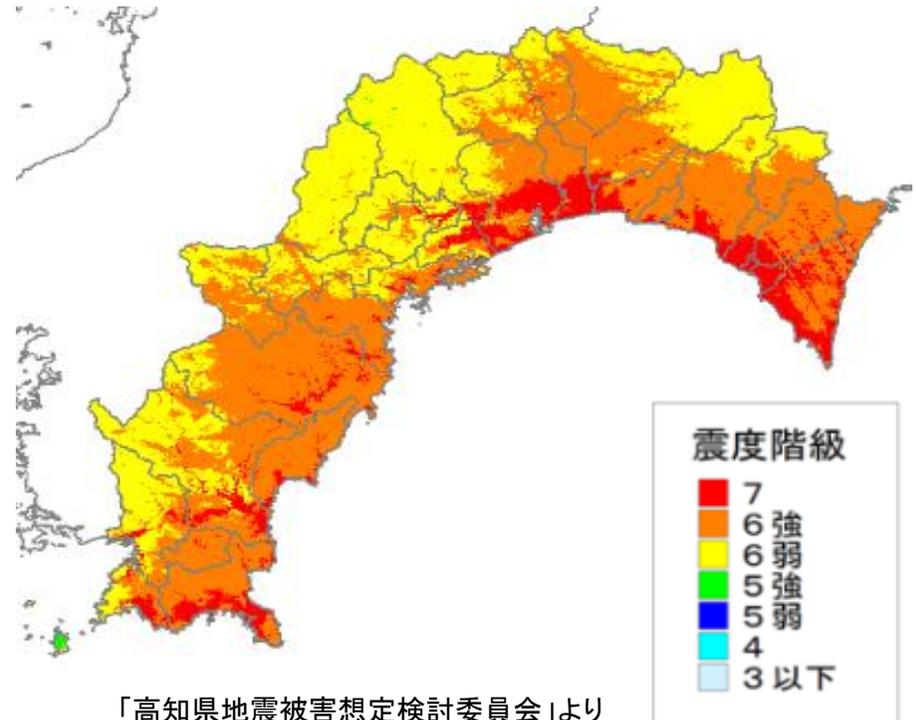
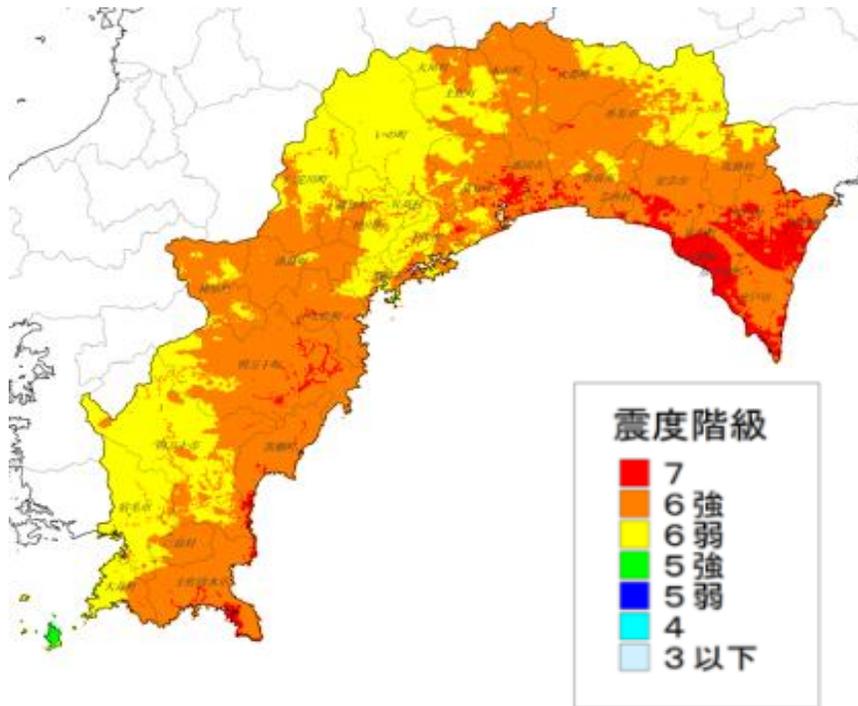
震度7 : 26市町村
震度6強 : 8市町村



【R7】

震度7 : 33市町村 (7)
震度6強 : 1市町村 (▲7)

震度6強 ⇒ 震度7 : 宿毛市、本山町、土佐町、仁淀川町、越知町、梶原町、津野町
震度6強 : 大川村

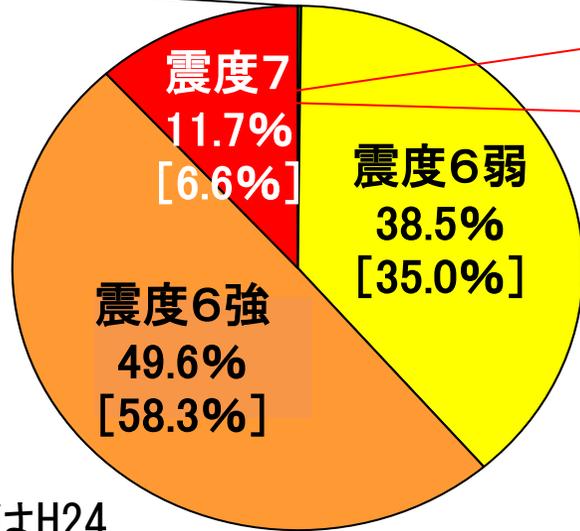


「高知県地震被害想定検討委員会」より



最大クラスの震度分布 面積割合 (H24→R7)

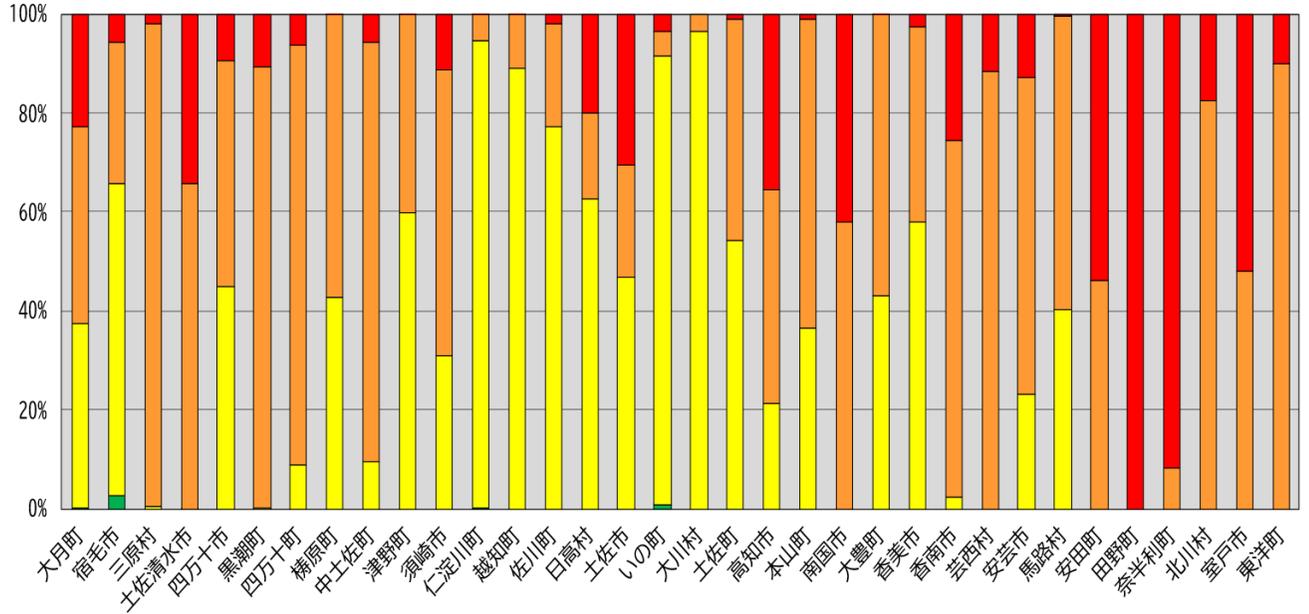
震度5強
0.2%
[0.1%]



【震度7】
6.6% → 11.7% (5.1)

【震度6強】
58.3% → 49.6% (▲8.7)

[]はH24



！ 最大クラスの継続時間分布図

- 揺れが続く時間（継続時間）について検討した。継続時間は、前回調査と同じ指標として『最初の10gal～最後の10galが現れた時間』とし、水平2成分の大きい方を採用した。
- 各ケースに対して秒単位で求めたものを分単位に変換し、継続時間分布図とした。また、震度分布図と同様に、4ケースを重ね合わせた最大の継続時間分布図を作成した。

表 継続時間の考え方（前回調査報告書より抜粋）

直感的にわかりやすいことを考え、震度階で3、つまり「屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる」下限の最大加速度は、絶対値で10gal(cm/s^2)であることから、加速度波形で、最初10gal（絶対値）が現れた時間から、最後に10gal（絶対値）が現れた時間を、継続時間とした。

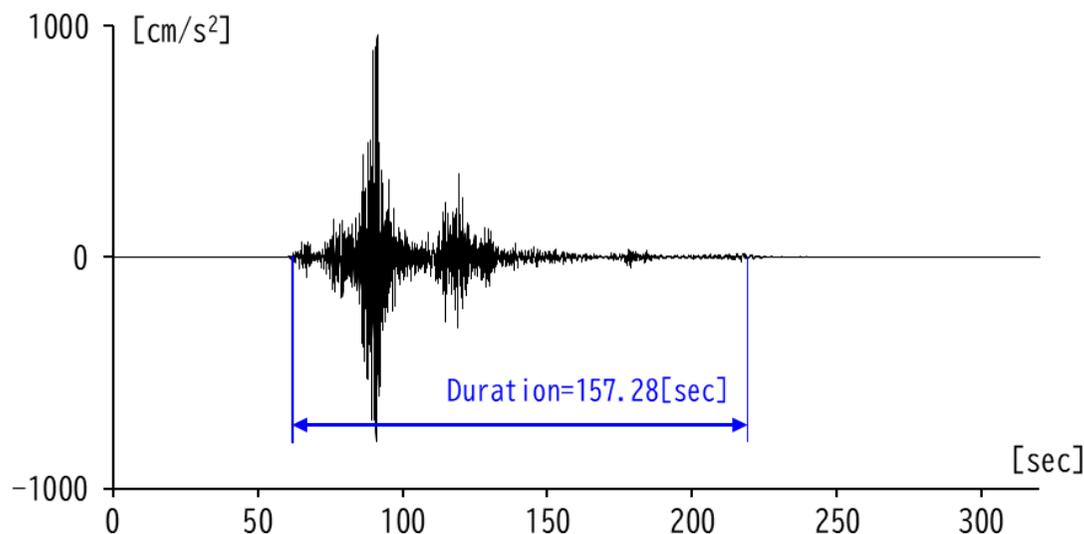
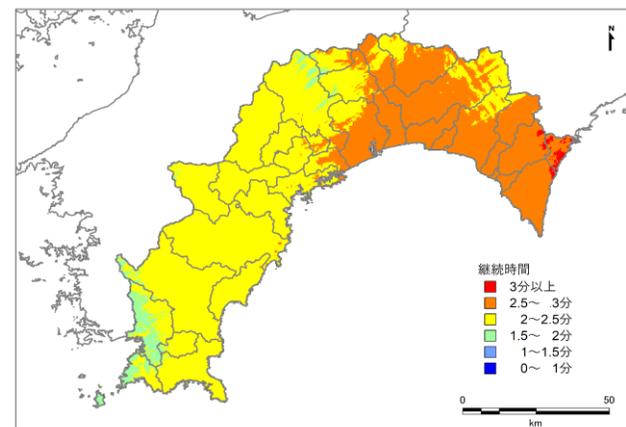


図 継続時間の算定例

図 継続時間分布図の作成例（陸側ケース）



単位：分

「高知県地震被害想定検討委員会」より

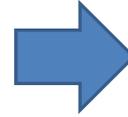


最大クラスの津波浸水面積

【H24】

浸水面積：19,253ha

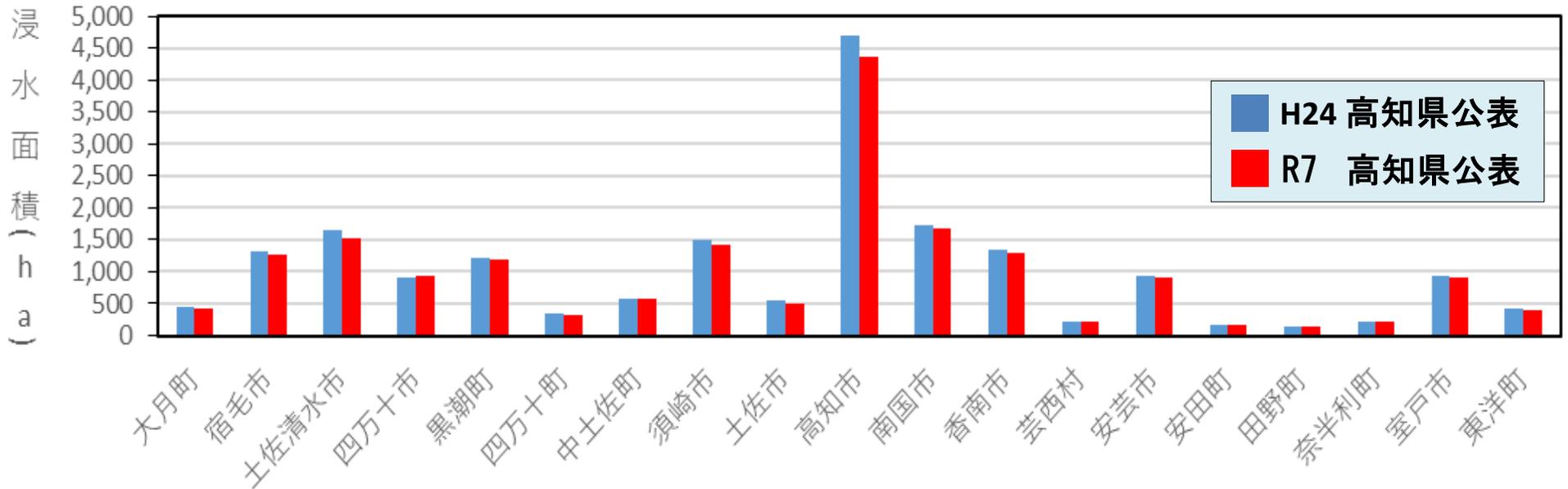
〔参考〕内閣府：16,930ha



【R7】

浸水面積：18,438ha (▲約4%)

〔参考〕内閣府：18,450ha





最大クラスの津波の高さ

【H24】

沿岸津波高：34.4m

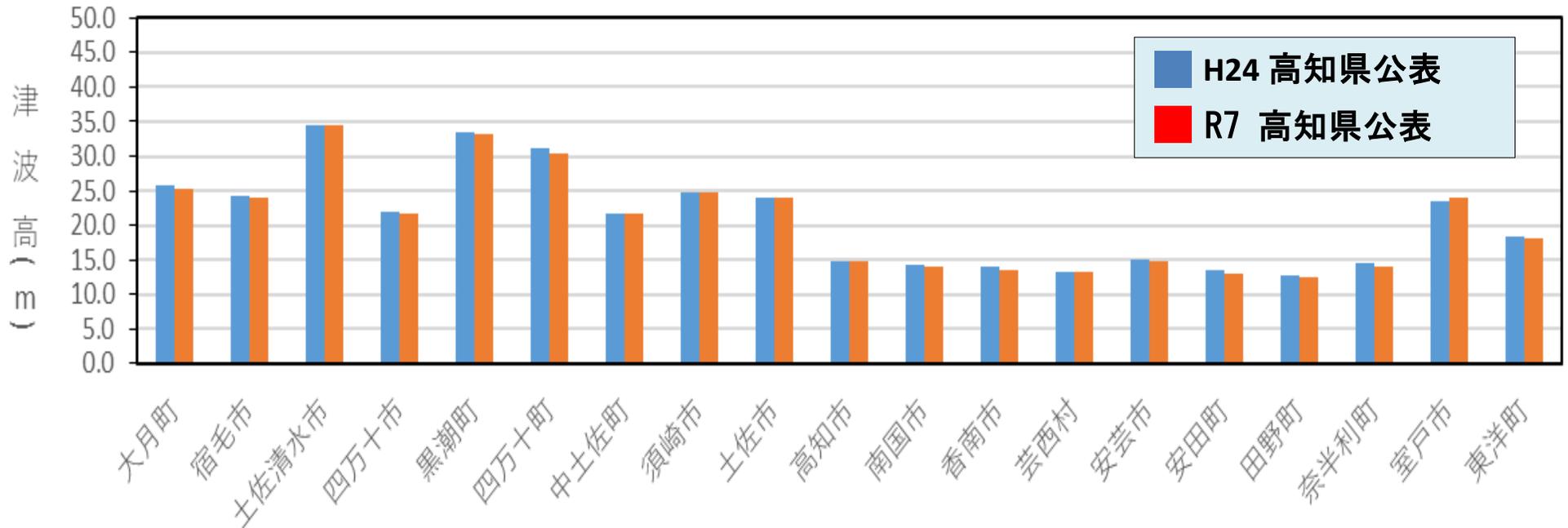
〔参考〕内閣府：34m



【R7】

沿岸津波高：34.5m

〔参考〕内閣府：34m





第6期 南海トラフ地震対策行動計画（令和7～9年度）のポイントと重点課題

令和7年度末に公表する人的被害や建物被害の想定結果を基に、行動計画を令和8年度にバージョンアップ予定

第6期行動計画のポイント

➤ 能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報の教訓を踏まえ、4つの観点で「事前の備え」を強化・加速化

(1) 「自助」、「共助」の取組の強化

住宅の耐震化促進、津波からの早期避難意識率向上、といった「自助」、復旧活動に向けた「共助」の取組を強化

(2) 避難環境の整備の強化

能登半島地震では、避難生活による災害関連死が相次いで発生したことを踏まえ、避難所におけるトイレやベッド、冷暖房機器などの整備を促進

(3) 復旧・復興作業に向けた事前の備えの強化

事前復興まちづくり計画については、沿岸地域の市町村に加えて、土砂災害特別警戒区域の広がる中山間地域の市町村に拡大

(4) 災害に強いインフラ整備の加速化

大動脈となる四国8の字ネットワークなどの道路整備や、浦戸湾の三重防護事業などの津波対策、上下水道施設の耐震化などをさらに加速化

重点課題（※減災目標の達成に向けて、従来の重点的に取り組む課題に新たな対策を取り入れ、「10の重点課題」として再編し、積極的に取組を推進）

命を守る対策

重点①
住宅の安全性の確保

重点②
地域地域での津波避難対策の実効性の充実

重点③ **新**
南海トラフ地震臨時情報への対応強化

命をつなぐ対策

重点④
医療救護対策、要配慮者対策の推進

重点⑤ **新**
災害関連死防止に向けた避難環境の整備や支援・受援態勢の強化

重点⑥
長期浸水域内における確実な避難と迅速な救助・救出

生活を立ち上げる対策

重点⑦
早期の復旧・復興に向けた取組の強化



共通課題

重点⑧
啓発の充実強化による自助・共助のさらなる強化

重点⑨ **新**
災害に強いインフラ整備の加速化

重点⑩ **新**
防災DXの活用による防災・災害対応業務の効率化の推進

【重点課題⑧】 自助・共助のさらなる強化 令和7年度県民世論調査（速報値）

1 調査結果の概要

- ◆ 主要項目である「津波からの早期避難意識」、「室内の安全対策」、「飲料水・食料の備蓄対策」「南海トラフ地震臨時情報への理解」の全てで、今年度の目標には達しなかったが、課題であった「津波からの早期避難意識」は改善が見られた。
- ◆ 調査結果を踏まえた効果的な啓発に取り組み、「自助」・「共助」のさらなる強化を図る。

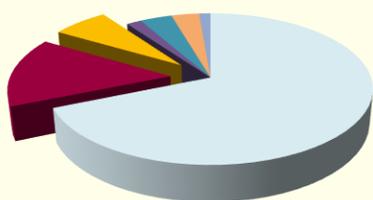
（調査概要）
 調査期間：R7.7.28～R7.8.25
 配布数：3,000票
 回収数：1,536票（回収率51.2%）

2 調査結果（速報値）

調査項目	第6期目標	調査結果（速報値）	結果の概要
①津波からの早期避難意識 （揺れがおさまったらすぐに避難する意識） ※「マンション等の高層階に住んでいるため避難しない」割合を除く。	・ R7：80% ・ R8：90% ・ R9：100%	・ R5：77.3% ・ R6：69.7% ・ R7： 73.6%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 昨年度実施したテレビCMの放送などの啓発強化の成果もあり、早期避難意識率は向上した。 ➢ 一方で年代別の意識率では、70歳代以上が62.9%と特に低く、昨年度の63.0%と比較しても低下している。 ➢ 次いで、40歳代の70.3%、50歳代の72.1%と低いため、これらの層に対する効果的な啓発方法を検討する。
②室内の安全対策実施率 ・家具・家電の固定の対策 ・固定が必要な家具・家電を置かない対策	・ R7：47% ・ R8：54% ・ R9：60%	・ R5：42.0% ・ R6：40.4% ・ R7： 41.9%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 昨年度から実施率は向上したものの、全ての年代において、「固定していない」が最も高い割合を占めている。 ➢ 固定していない理由の上位は「手間がかかる(31.3%)」、「費用がかかる(25.6%)」である一方、取付け工事等に係る補助制度の認知率は35.4%と低い（R6意識調査）ことから、補助制度のさらなる認知率向上に向けた取り組みが必要。
③飲料水・食料の3日分以上の備蓄率	飲料水	・ R7：82% ・ R8：91% ・ R9：100%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 飲料水・食料ともに、70%以上の方が3日分以上の備蓄ができているが、その割合は昨年度比ではやや減少した。 ➢ 令和6年能登半島地震において、孤立地域が多数発生したことを受け、県民の備蓄意識は高まっていると推察される。 ➢ 一方で、3日分以上の備蓄ができていない人の3割以上が「まとまった量を購入する習慣がない」と回答していることから、ローリングストック等のさらなる普及啓発が必要。
	食料	・ R7：82% ・ R8：91% ・ R9：100%	
④南海トラフ地震臨時情報への理解 （発表時に自身の取るべき行動の理解）	巨大地震警戒	・ R7： 30.2%	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 第6期の新たな目標に合わせて、今年度から、臨時情報の「巨大地震警戒」又は「巨大地震注意」が発表された場合に、県民が取るべき行動をどの程度理解しているか調査した。 ➢ 臨時情報のことを「知っている」又は「聞いたことがある」という人の割合は過去最高(87.4%)となったが、一方で、取るべき行動を理解している人の割合は30%余りにとどまった。 ➢ 臨時情報に対する正しい理解のもと、命を守る適切な行動につなげられるよう、周知・啓発方法の工夫が必要。
	巨大地震注意	・ R7： 31.6%	

【重点課題⑩】防災DX「早期避難等情報システム」

【課題】『平成27年度地震・津波に対する県民意識調査』（平成27年9月）
 ⇒約2割の県民が「避難を開始するためのきっかけを必要としている」ことが判明



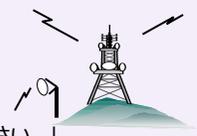
- 揺れがおさまった後、すぐに (68.6%)
- 津波警報が出たら (14.8%)
- 市町村から避難の呼びかけがあったら (6.6%)
- 近所の人や家族が避難したら
- 家族が避難したら
- マンション等の高層階に住んでいるため避難しない
- 無回答

津波からの避難の呼び掛けを行う仕組みが必要！

- H28年度：「早期津波避難システム検討委員会」（平成29年1月）
 ※委員：学識経験者、高知地方気象台、県内3市防災担当課長等
 ○防災行政無線、緊急速報メール等の活用など対策案の提示
- H29年度：「早期津波避難システム検討協議会」（平成29年7月～10月）
 ※委員：沿岸19市町村防災担当課長、高知地方気象台等
 ○対策案の具体化
- H30年度：「早期避難等情報システム」を整備

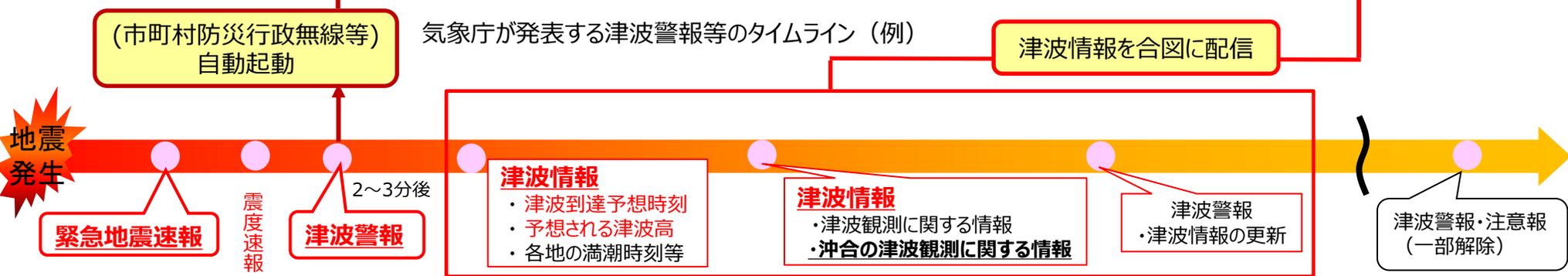
【対策1】：防災行政無線の音声パターン及びサイレンを統一

- 大津波警報は「命令調」で呼びかけ
 - ・ 大津波警報：サイレン（3秒吹鳴2秒休止）×3回
 「大津波警報、大津波警報。大至急、高台へ避難せよ。
 大津波警報が発表されました。海岸付近の方は大至急、高台に避難してください。」
 - ・ 津波警報：サイレン（5秒吹鳴6秒休止）×2回
 「津波警報が発表されました。海岸付近の方は大至急、高台に避難してください。」
- 繰り返し自動放送を継続



【対策2】：津波情報を緊急速報メールで配信

- 総合防災情報システムより「緊急速報メール」を自動配信
 - ・ 気象庁が発表する「津波情報」の電文を解析する機能を追加
 - ・ 「津波情報」をもとに緊急速報メールを自動配信する機能を追加

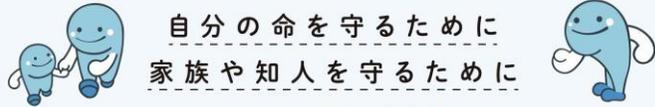


N-net、DONET 1、DONET 2 など

重点課題⑩ 防災DX「高知県防災アプリ」

多言語化対応（6カ国7言語）

英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語



高知県防災アプリ



令和2年度から運用
令和7年12月末時点
高知県防災アプリインストール数
:約10万8百



気象庁が
発表する情報を
即時に表示

ハザードマップと避難所の
位置や経路を表示



- 気象庁の気象警報等
- 雨量・水位・ダム情報
- 土砂災害危険度情報
- 避難指示等
- 避難所開設情報
- 任意メッセージ

自動配信
地域を限定して
プッシュ通知

防災情報を
「プッシュ通知」で
受け取れます！



iPhone
Android
スマートフォン

通知パネルを
タップすると
アプリの該当
画面が起動



詳細な情報

地震・津波情報	避難所情報	防災マップ
水防情報	カメラ映像	グループSOS

事前に登録した
別ユーザーに
安否情報を送る

平時にも活用

気象レーダー 県内の雨雲の 動きを表示	防災ガイド 県の啓発パンフレット等 を閲覧
防災学習 防災の基礎知識について ドキュメント記事を閲覧	防災クイズ 防災の知識をクイズ 形式で学ぶ

知事メッセージなど



行動計画をバージョンアップする際に検討する主な対策

● 命を守る対策

- ・ 住宅の安全性の確保
- ・ 津波からの早期避難意識の向上

● 災害関連死対策

- ・ 避難者の良好な生活環境(T・K・B)を整備
- ・ 保健・医療・福祉の供給体制の確立

● 要配慮者対策

- ・ 個別避難計画、要配慮者施設の避難確保計画の作成及び訓練

● 負傷者対策

- ・ オフィスや事業所の耐震化、室内のキャビネットや資材等の転倒防止対策
- ・ 救助・救命活動に関する実践的な訓練・研修等

● 孤立対策

- ・ 可能な限り1週間分程度の家庭や地域での備え(水、食料、医薬品、簡易トイレ、非常用電源等)
- ・ 道路啓開計画の実効性の確保

etc



最後に

「防災・減災対策に終わりはなし」と考え、

「安全・安心な高知」に向けて、

南海トラフ地震対策を

着実に、スピード感を持って推進します！

南海トラフ地震に備えちよき✌



つなみまん



じしんまん

高知県防災キャラクター©やなせたかし